

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【社会的な思考・判断・表現】
社会的事象に関する自分の考えをもつ。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 総括単元テストで記述問題を苦手とする生徒が多い。 資料の読み取りを苦手とする生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 因果関係を考えさせる授業を展開し、考えを述べさせる。復習を充実させ基礎基本の定着を図る。 複数の資料を提示し、読み取る授業を展開し、話し合い、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月 毎月 	<ul style="list-style-type: none"> 因果関係を考えさせる授業を展開し発表させた。総括単元テストで得点に結びつけられる生徒も増えた。 資料を読み取る力を身につけさせることは今後の課題である。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」で3観点とも都の平均より低く、課題がみられる。特に「知識・理解」が都平均より6.3%低く、知識の定着が課題である。 社会的事象について、自分で考え、発表することを苦手とする生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から何を表しているかを考えさせ、そこから何が言えるかを読み取り、話し合い、発表する活動を継続する。引き続き単元テストで基礎の定着を図る。 グループ活動を取り入れ、意見交換をさせ、ワークシートで、考えをまとめる機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月 毎月 	<ul style="list-style-type: none"> 因果関係を考えさせる授業を展開し発表させた。総括単元テストで得点に結びつけられる生徒も増えた。 思考を深めさせることはできた。さらに資料を読み取る力を身につけさせたい。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、自分で考え、発表することを苦手とする生徒が多い。 資料の読み取り、分析を苦手とする生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動を取り入れた授業を行い、意見交換をさせる。その後、自分の考えを振り返らせる。 複数の資料を提示し、分析する授業を各単元に1つ以上盛り込み、考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月 毎月 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動を増やし、自他の意見を比較、分析することで事象を多角的にみる力が付いた。さらに、思考力を伴う問題を増やしたい。 資料の読み取りの際、生徒が関心を持てるよう、時事問題や地域に関する資料などを精選する必要がある。

■主体的・対話的で深い学びに関連して
1年 課題提示の工夫、ペアワークの充実
2年 課題提示の工夫、グループ活動の充実
3年 課題提示の工夫、グループ活動の充実

■小中一貫教育共通プログラムに関連して
1年 授業中心の振り返りと宿題の提示
2年 授業中心の振り返りと宿題の提示
3年 授業中心の振り返りと宿題の提示